

男女共同参画週間

国では、毎年6月23日～29日を「男女共同参画週間」の日と定め、全国各地でいろんな催しが行われています。

香芝市でも、この期間中 毎年懸垂幕の掲示及び、庁舎1階ロビーにて啓発図書及びDVDの紹介、また、本年度は「週間講演会」を「くらしを考える講座」と合同で、総合福祉センター多目的室にて開催いたしました。



同時に、「香芝市男女共同参画推進登録団体」さんによる、活動紹介パネル展も開催し、市民の皆さんへの広報活動を行いました。

本市では、このような啓発活動を通して本庁内部はもとより、市民の皆さんの“意識改革”に努めています。



男女共同参画週間講演会 くらしを考える講座

6 / 28 (土)

テーマ

ワーク・ライフ・バランス

～父親の子育てへの参画～

第一部 活動報告

かしば・ヒューマン・ウイング(香芝市男女共同参画推進登録団体)

かしば・ヒューマン・ウイングさんは、登録されている9団体の中でも、唯一男性ばかりで構成されている団体さんです。日常生活の、さまざまな場での男女共同参画について意見交換し、男性の意識改革を進めることを目標に活動されています。また、青色

パトロールカーで防犯パトロールされるなど、地域に根ざした活動をされています。



今回は、日頃の男女共同参画についての活動報告と、メンバーによる2年間の活動を通して感じたことを作文にして発表していただきました。

第二部 講演

講師 堀 桂 さん (株ダスキンの育児休職取得者)



堀さんは、社内の人事部人事労務室に勤務されるかたわら、「男女共同参画委員会」委員として、行動計画の策定や女性の活躍推進にも取り組んでおられます。

また、社内で2人目となる男性育児休職を取得され、“長期間の育児休職でなく

てもよい。密度の濃い休職をしよう”の考えのもと、子供とのふれあいだけではなく、奥さんとのコミュニケーションを図る1ヶ月を過ごされる。

たくさんの方が参加され、熱心に聞かれていました。

参加者の声



夫婦のおもいやり、人と人のおもいやり、大事なことだと思います。男性の育児休暇も取れるものなら取った方が妻は助かると思う。

香芝ヒューマンウイングの方々の活動は今まで知らなかったもので、今回男性ばかりの団体で、こんなに繊細に、子供の未来について真剣に思い、活動に力を入れているとはおどろきでした。

発表が具体的でわかりやすかった。質問もたくさん出て参加者の関心の高さがうかがわれた。

仕事をしながら、子育てする事に私も共感する場面がたくさんあり、自身も思っている、仕事に対する思い、家族への思いを共感できてよかった。

男性の育児休業についてとても参考になりました。娘達におしえて伝えようと思います。

男女共同参画と言う事で、男女、夫婦で仕事や育児、子育ての考え方や見方、一緒に協力し合って生活をするという、くらしを考えさせるセミナーを、もっともっとふやしてほしいと思いました。



わかり易いことばで適切に話され、よく理解できました。

講演会に参加された人の意見も貴重でした。よかったです。

子供に勇気、元気をもらう事が多く、これからもできるだけの応援をしてやりたいと改めて感じた。

育児に関して、こんなに前向きに考えている男性がいることに驚きました。私の周りにはいません。素晴らしいと思うし、これからふえていって欲しいです。

子供にとって父親の役割は大きいと思います。主人の会社は、有給さえも取りづらい会社なので、社会全体が変わってくれば良いなと思います。

希望

思春期の子供についての講演

仕事をしながら子供を育てる親の為の講演

男女共同参画については男性のたくさんの出席をのぞむ

男女共同参画のとりくみが進んでいる地域の実践の様子等。



人権問題についての内容が多いように思います。物の価格が上がり生活しにくい世の中において、もっと生活しやすい、日頃の食生活のくふうなどの提案などについて話をしてもらえたら。

貴重なご意見ありがとうございました。